

(参考様式5)

平成21年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	津市	桃園西部	H18~20	H18

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容:

イ 施策の実績

(コメント)

ウ 施策の効果

(コメント)

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード

ア 施策の内容:

計画地区の地形図作成及び従前地調査・換地に係る地域の合意形成等を図る。

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
農業生産の基盤の整備	・地形図作成 ・換地及び交換分合計画樹立		津市	
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
A=31ha	H18	H18		

事項	単位	計画時 18年度)	目標値 (19年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
基盤整備事業の着手	年	—	1	2	100	H20着手

調査年次における実績が計画未済である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

(イ)施設等の利用実績

施設等名( )

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計
		利用人数															
		利用日数															
		延べ利用室数															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。  
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。  
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。  
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。  
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に( )書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は( )書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)  
 地形図作成により事業計画の作成に成果として十分な効果があった。また、従前地の把握と換地に関する地域の合意形成等を図ることができた。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	基盤整備事業の着手	1	2	100	
地域	遊休地なしの現状維持	0	0	100	

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載  
 平成19年度の事業着手を目指し、本事業を実施し事業計画書を作成すると共に事業推進を図ってきたが、事業計画に関し地元調整に日時を要したことから事業着手には1年延伸し平成20年度着手となったものである。

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)  
 平成19年度の事業着手を目指していたが、計画に関する地元調整等により1年遅れの平成20年度事業着手となったものであるが、平成20年度に事業採択を受け事業が順調に進んでいる。また、事業着手という目標は達成することが出来た。

4 総合評価

(コメント)  
 目標としていた平成19年度事業着手は実現できなかったが、地元調整を重ねたことから概ねの同意を得て1年遅れの平成20年度事業着手が可能となったことから、本事業を実施した効果は十分に発揮された認識し、評価できる。

(都道府県の意見)

(コメント)

目標としていた平成19年度事業着手ではなかったものの、1年遅れの平成20年度事業着手が実現したことから、本事業を実施した効果は十分に発揮され成果を出しているため、良好であると評価できる。

